

誰もが、ただ、いい場所。

西本願寺

# 秋の法要

2024(令和6)年  
11月22日・23日

西本願寺 全国門徒総追悼法要

経文を掲載しております。  
大切にお取り扱いください。







# 新しい「領解文」 (浄土真宗のみ教え)



南無阿弥陀仏  
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
「そのまま救う」が 弥陀のよび声  
ありがとう いただきたい  
この愚身をまかす このままで  
救い取られる 自然の浄土  
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに  
宗祖親鸞聖人と  
法灯を伝承された 歴代宗主の  
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり  
少しずつ 執われの心を 離れます  
生かされていることに 感謝して  
むさぼり いかりに 流されず  
穏やかな顔と 優しい言葉  
喜びも 悲しみも 分かち合い  
日々に 精一杯 つとめます

2024(令和6)年 11月22日・23日

全国門徒総追悼法要

# 秋の法要

この一年間にご往生された方がたをはじめ  
全国すべての門信徒の総追悼法要です。

両日ともに午前10時30分から阿弥陀堂にて  
「阿弥陀経作法」をお勤めいたします。

23日は午後2時から恒例の本願寺音御堂が開催されます。

また、境内では本法要に献花される菊花を用いた  
「第71回本願寺献菊展」を開催しています。

ぜひご覧ください。



## 目次

- 1 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)
- 3 ご挨拶  
〈浄土真宗本願寺派総長 荻野 昭裕〉  
〈本願寺執行長 藤實 無極〉
- 5 法要・行事日程
- 7 阿弥陀経作法  
三奉請・仏説阿弥陀経・念仏・回向
- 24 本願寺よりのご案内  
本願寺LINE公式アカウント開設/  
ほとけさまのお話(お西さんの法話・晨朝(朝のお勤め)・  
お西さんの土曜法話・昼座)/お西さんを知ろう!
- 25 帰敬式
- 26 「院号」をいただくには
- 27 本願寺音御堂2024
- 29 免物
- 30 「お斎」接待のご案内

# 全国門徒総追悼法要(秋の法要)をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

荻野 昭裕おきの しょうゆう

本願寺執行長

藤實 無極ふじみ むごく

本日は全国各地より、「全国門徒総追悼法要(秋の法要)」にようこそご参拝くださいました。本年は元日に起きた能登半島地震にはじまり、台風10号、また9月20日から発生した能登地方における豪雨と、各地で自然災害が続き、多くの方が尊いのちを失われたことに対し、衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申しあげます。

さて、毎年11月22日、23日の両日におつとめしております「全国門徒総追悼法要」は、ご往生された全国すべての門信徒の皆さまを追悼する法要としておつとめしております。

宗祖親鸞聖人がお示しく下さいました浄土真宗のみ教えは、あらゆる人びとが、阿弥陀如来の本願力によって浄土に往生し、仏となってこの世に還って迷えるものを救うためにはたら

くという教えであります。

ご門主さまは、親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讃法要御満座のご消息のなかで、「私たちが浄土真宗のみ教えを確かな依りどころとして生きることができるのは、親鸞聖人が『顕浄土真実教行証文類』(教行信証)を著され、『仏説無量寿経』に説き示される阿弥陀如来の本願名号の真実の教えを明らかにされるとともに、聖人のみ跡を慕う多くの先人方が、み教えに生かされる喜びを今日まで大切に伝えてこられたからに他なりません。」とお示しく下さいました。私たちは阿弥陀如来の大きなお慈悲と先人のおかげのなかで、今こうして「南無阿弥陀仏」のお念仏に出会い、確かな道を歩ませていただいています。

このご法要を通して、お一人おひとりご亡くなられた大切な方々を偲びつつ、お念仏のみ教えを伝えてくださったことに感謝しながら、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、お念仏申す歩みを続けてまいります。

合掌



# 法要・行事日程

## 22日 (金)

総会所	御影堂	阿弥陀堂	御影堂
14時00分	13時30分	11時30分	10時15分
常例布教 喜多唯信師(大阪府) P.24	帰敬式 P.25	総永代経法要	法名奉呈・日程説明
<b>全国門徒総追悼法要</b> 阿弥陀経作法 P.7 (約40分) 引き続きお西さんの法話 季平 願生師(広島県) P.24			
22日(金)13:30~ <b>近畿講社大会</b> 近畿講社連絡会主催のもと、毎年秋の法要後に実施しております。 講社は浄土真宗の教えにもとづいて愛山護法の思いから本山本願寺を護り、阿弥陀如来さまのお慈悲の尊さ有難さを、後の世まで広くつたえるため活動している本願寺の団体です。			



## 23日 (土・祝)

阿弥陀堂	総会所	御影堂	阿弥陀堂	御影堂
14時00分	14時00分	13時30分	11時30分	10時30分
本願寺音御堂 P.27	常例布教 喜多唯信師(大阪府) P.24	帰敬式 P.25	総永代経法要	法名奉呈・日程説明
<b>全国門徒総追悼法要</b> 阿弥陀経作法 P.7 (約40分) 引き続きお西さんの法話 牧野 光博師(岐阜県) P.24				



YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」で両日ともLIVE配信いたします。P.24

# 仏さまを讃える大合唱

## 本願寺音御堂 2024

「本願寺音御堂」は、日頃より仏教讃歌に親しむ門信徒の方々から西本願寺に集う合唱大会です。今回は、全国からお集まりの数百名による歌声が阿弥陀堂に響きます。御堂に満ちるよろこびの歌声を、お味わいください。

日時 11月23日(土・祝) 14時~(約40分)

会場 阿弥陀堂

- 曲目
- ・音楽礼拝—正信念仏偈による
  - ・みんな花になれ
  - ・聖親鸞
  - ・ひかりあふれて
  - ・千万の
  - ・み光りの
  - ・人は去っても
  - ・恩徳讃

\*歌詞は27・28ページをご覧ください。

出演 全国の仏教讃歌合唱団・個人のみなさん

指揮：安藤常光、酒井良一  
伴奏：鈴鹿啓子、西村祐利子

※宗派公式YouTubeチャンネルにてライブ配信

YouTubeアーカイブ配信

浄土真宗本願寺派公式YouTubeチャンネル「浄土真宗本願寺派西本願寺」



# 阿彌陀經作法

三奉請 律曲 宮

黄鐘調

商・盤シ  
宮・黄ラ ソファ#  
羽・雙下ミ  
角・平レ  
商・角・レ  
盤シ

奉請 彌陀如來

入道場

散華樂

奉請 釋迦如來

入道場

散華樂

奉請 十方如來

入道場

散華樂

## 佛說阿彌陀經

佛說阿彌陀經

同音

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園

與大比丘衆千二百五十人俱皆是阿羅

漢衆所知識長老舍利弗摩訶目犍連摩訶

迦葉摩訶迦旃延摩訶俱絺羅離婆多周利

槃陀伽難陀阿難陀羅睺羅憍梵波提賓頭

盧頗羅墮迦留陀夷摩訶劫賓那薄拘羅阿

菟樓駄・如是等諸大弟子・并諸菩薩摩訶薩・  
文殊師利法王子・阿逸多菩薩・乾陀訶提菩薩・  
薩常精進菩薩・與如是等諸大菩薩・及釋提  
桓因等無量諸天・大衆俱・  
爾時佛告長老舍利弗・從是西方過十萬億  
佛土・有世界名曰極樂・其土有佛號阿彌陀・  
今現在說法・舍利弗・彼土何故名爲極樂・其  
國衆生無有衆苦・但受諸樂・故名極樂・  
又舍利弗・極樂國土・七重欄楯・七重羅網・七

重行樹・皆是四寶・周帀圍繞・是故彼國名曰  
極樂・

又舍利弗・極樂國土・有七寶池・八功德水・充  
滿其中・池底純以金沙布地・四邊階道・金銀  
瑠璃・玻瓈・合成・上有樓閣・亦以金銀瑠璃・玻  
瓈・磈磈・赤珠碼碯・而嚴飾之・池中蓮華・大如  
車輪・青色青光・黃色黃光・赤色白光・白  
光・微妙香潔・舍利弗・極樂國土・成就如是功  
德莊嚴・

又舍利弗。彼佛國土。常作天樂。黃金爲地。晝  
夜六時。而雨曼陀羅華。其國衆生。常以清旦。  
各以衣被。盛衆妙華。供養他方十萬億佛。卽  
以食時。還到本國。飯食經行。舍利弗。極樂國  
土。成就如是功德莊嚴。

復次舍利弗。彼國常有種種奇妙雜色之鳥。  
白鵠孔雀。鸚鵡舍利迦陵頻伽。共命之鳥。是  
諸衆鳥。晝夜六時。出和雅音。其音演暢。五根  
五力。七菩提分。八聖道分。如是等法。其土衆



極樂の六鳥

生。聞是音已。皆悉念佛。念僧。念舍利。汝  
勿謂此鳥實是罪報所生。所以者何。彼佛國  
土。無三惡趣。舍利弗。其佛國土。尚無三惡道  
之名。何況有實。是諸衆鳥。皆是阿彌陀佛。欲  
令法音宣流。變化所作。舍利弗。彼佛國土。微  
風吹動。諸寶行樹。及寶羅網。出微妙音。譬如  
百千種樂。同時俱作。聞是音者。皆自然生念  
佛。念法。念僧之心。舍利弗。其佛國土。成就如  
是功德莊嚴。

調声

同音

舍利弗・於汝意云何・彼佛何故・號阿彌陀・舍  
 利弗・彼佛光明無量・照十方國・無所障礙・是  
 故・號爲阿彌陀・又舍利弗・彼佛壽命・及其人  
 民・無量無邊・阿僧祇劫・故名阿彌陀・舍利弗・  
 阿彌陀佛・成佛已來・於今十劫・又舍利弗・彼  
 佛有無量無邊・聲聞弟子・皆阿羅漢・非是算  
 數・之所能知・諸菩薩衆・亦復如是・舍利弗・彼  
 佛國土・成就如是・功德莊嚴・  
 又舍利弗・極樂國土・衆生・生者・皆是阿鞞跋

致・其中多有・一生補處・其數甚多・非是算數・  
 所能知之・但可以無量無邊・阿僧祇劫・說・舍  
 利弗・衆生・聞者・應當發願・願生彼國・所以者  
 何・得與如是・諸上善人・俱會一處・舍利弗・不  
 可以少善根・福德・因緣・得生彼國・  
 舍利弗・若有善男子・善女人・聞說阿彌陀佛・  
 執持名號・若一日・若二日・若三日・若四日・若  
 五日・若六日・若七日・一心不亂・其人臨命終  
 時・阿彌陀佛・與諸聖衆・現在其前・是人終時・



心不顛倒。即得往生。阿彌陀佛。極樂國土。舍利弗。我見是利。故說此言。若有衆生。聞是說者。應當發願。生彼國土。

舍利弗。如我今者。讚歎阿彌陀佛。不可思議功德。東方亦有阿閼鞞佛。須彌相佛。大須彌佛。須彌光佛。妙音佛。如是等。恆河沙數諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

舍利弗。南方世界。有日月燈佛。名聞光佛。大焰肩佛。須彌燈佛。無量精進佛。如是等。恆河沙數諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信是稱讚。不可思議功德。一切諸佛。所護念經。

舍利弗。西方世界。有無量壽佛。無量相佛。無量幢佛。大光佛。大明佛。寶相佛。淨光佛。如是等。恆河沙數諸佛。各於其國。出廣長舌相。徧覆三千大千世界。說誠實言。汝等衆生。當信

是稱讚不可思議功德一切諸佛所護念經。  
舍利弗北方世界有焰肩佛最勝音佛難沮  
佛日生佛網明佛如是等恆河沙數諸佛各  
於其國出廣長舌相徧覆三千大千世界說  
誠實言汝等衆生當信是稱讚不可思議功  
德一切諸佛所護念經。

舍利弗下方世界有師子佛名聞佛名光佛  
達摩佛法幢佛持法佛如是等恆河沙數諸  
佛各於其國出廣長舌相徧覆三千大千世

界說誠實言汝等衆生當信是稱讚不可思  
議功德一切諸佛所護念經。

舍利弗上方世界有梵音佛宿王佛香上佛  
香光佛大焰肩佛雜色寶華嚴身佛娑羅樹  
王佛寶華德佛見一切義佛如須彌山佛如  
是等恆河沙數諸佛各於其國出廣長舌相  
徧覆三千大千世界說誠實言汝等衆生當  
信是稱讚不可思議功德一切諸佛所護念

經。

舍利弗・於汝意云何・何故名爲一切諸佛所  
護念經・舍利弗・若有善男子・善女人・聞是諸  
佛所說名・及經名者・是諸善男子・善女人・皆  
爲一切諸佛・共所護念・皆得不退轉・於阿耨  
多羅三藐三菩提・是故舍利弗・汝等皆當信  
受我語・及諸佛所說・舍利弗・若有人・已發願  
今發願・當發願・欲生阿彌陀佛國者・是諸人  
等・皆得不退轉・於阿耨多羅三藐三菩提・於  
彼國土・若已生・若今生・若當生・是故舍利弗・

諸善男子・善女人・若有信者・應當發願・生彼  
國土・

舍利弗・如我今者・稱讚諸佛・不可思議功德・  
彼諸佛等・亦稱說我・不可思議功德・而作是  
言・釋迦牟尼佛・能爲甚難・希有之事・能於娑  
婆國土・五濁惡世・劫濁見濁・煩惱濁・衆生濁・  
命濁中・得阿耨多羅三藐三菩提・爲諸衆生・  
說是一切世間・難信之法・舍利弗・當知我於  
五濁惡世・行此難事・得阿耨多羅三藐三菩



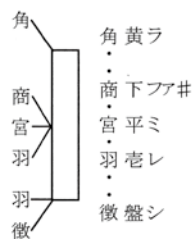


提・爲一切世間説此難信之法是爲甚難・佛  
 説此經已舍利弗及諸比丘一切世間天人  
 阿修羅等聞佛所説歡喜信受作禮而去  
 佛説阿彌陀經

念 佛

出律曲 羽

平調



阿彌陀佛  
 阿彌陀佛  
 阿彌陀佛

阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛  
 阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛  
 阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛 阿彌陀佛



# 龍谷山 本願寺LINE公式アカウント開設



龍谷山 本願寺LINE公式アカウントを開設しました。  
毎日のお勤め時間や帰敬式の日程をはじめ、大谷本廟の  
受付混雑状況や、お西さんのYouTubeも検索いただく  
ことができます。ぜひご利用ください。



LINE ID 「@hongwanji」

## ほとけさまのお話

お西さんの法話 毎日(11:00) / 御影堂 15分1席 ※配信なし

YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」



晨朝〈朝のお勤め〉 毎朝(6:00) / 阿彌陀堂・御影堂 ▶LIVE

お西さんの土曜法話 土曜日(17:00) / 総会所 40分1席 ▶LIVE

YouTubeチャンネル「お西さんの常例布教」



昼座 毎日(14:00) / 総会所 30分2席 ▶LIVE

※参加無料。また、各法座は状況により中止又は時間・会場等変更する場合がございます。

### ▶ YouTubeによるお聴聞ができます！

毎日の晨朝・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeにて▶LIVE配信  
しています。また、過去の法話(アーカイブ※)も公開中です。  
上記チャンネルから、いつでもどこでもお聴聞していただけます。  
※(アーカイブ配信)は期間限定公開(諸事情により公開されない場合もございます)。



## お西さんを知ろう!

「お西のお坊さん」による境内案内

1日4回 所要時間…約30分

集合場所:お茶所

1回目 10:00~ 2回目 11:30~

3回目 13:45~ 4回目 15:30~

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が、両堂や  
境内各所を法話を交え、ご案内いたします。  
どなたでも何度でもご参加いただけます。  
参加希望の方は、上記開催時間まで  
お茶所にお越しください。

※本法要期間中も開催いたします。



何がもらえるかは  
お楽しみ♪

ご参加いただいた方には…

オニシ  
024Card (全24種)

1枚をプレゼント!

本願寺の見どころを  
紹介する  
オリジナルカードです。



同発善提心 往生安樂國 願以此功德 平等施一切

回 向 出 律 音 曲 羽

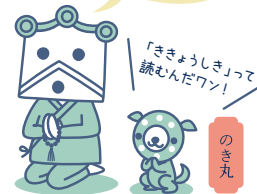
黄鐘調

# お西さんの 帰敬式を知ろう!

帰敬式は「おかみそり」とも呼ばれ、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにしお念仏申す日暮らしを送ることを誓う大切な儀式です。仏教をひらかれたお釋迦さまの「釋」の一字と漢字二文字※からなる「法名」が授けられます。「法名」とは、み教え(法)を依りどころとしてお浄土への道を歩ませていただく仏弟子としての「名のり」です。

※漢字二文字は、經典(浄土三部經)や親鸞聖人のご著書の中より選ばれています

日ごろ、多くおたずねのある「帰敬式」をご案内するよ。



獅子口さん

のき丸

Q なぜ、法名は「釋〇〇」だけなのですか?

浄土真宗のみ教えは、みな等しくともにお浄土への道を歩ませていただくという教えですから、「釋〇〇」の法名以外に「信士・信女・居士・大姉」等の位号などは用いられません。

## 帰敬式 Q&A

Q 「法名」と「戒名」は違うのですか?

いずれも仏教徒としての名前を表す言葉ですが、浄土真宗では「法名」、他宗では「戒名」・「法号」ともいいます。厳格な規律(戒律)を守って修行する人びとにつく名前が「戒名」なのに対し、浄土真宗では、戒律の一つも守ることのできない私たちが、必ず浄土へ迎えるという阿弥陀さまのはたらきを「法」と呼び、その法の中に生かされている私たちがいただく名前を「法名」といいます。



## 「院号」をいただくには

院号って何?

院号は、宗門へ貢献をされた方や、20万円以上の永代経懃志を納めていただいた方へお渡ししているものです。

おくられる院号は「〇〇院」の漢字3文字で浄書(墨書き)したものに本願寺印が押印されています。院号はご自身の希望の文字を入れて、内願することができます。帰敬式を受式されている方には、院号のあとに法名「釋〇〇」が併記されます。

院号・法名は生前にいただくことができるんだね!



院号とあわせて式章もいただけるんだね!



## 「院号」がいただける基準

- 寺院の門徒総代を通算20年(5期)以上経歴された方や、寺院の責任役員を通算12年(3期)以上経歴されるなどその功績が認められた方
- 宗門および本山に多額の永代経懃志を進納された方(懃志20万円以上の永代経扱いとして交付)

## 永代読経修行之証

永代経申し込み後、初めて法要にお参りいただいた際に、「永代読経修行之証」という証書をお渡しします。この証書をお持ちいただいた方には、これ以降本願寺・国宝「阿弥陀堂」にて、原則1日2回修行される総永代経法要にいつでもお参りいただけます。





# 仏さまを讃える大合唱

# 本願寺音御堂2024

## みんな花になれ

詞:山口タオ 曲:加藤登紀子

あなた<sup>わら</sup>が笑<sup>はな</sup>うと 花<sup>はな</sup>になる  
 見<sup>み</sup>ている私<sup>わたし</sup>も 花<sup>はな</sup>になる  
 いいことあるよ 笑<sup>わら</sup>ったら  
 誰<sup>だれ</sup>でも花<sup>はな</sup>になれるんだ  
 そら<sup>そら</sup>みあ<sup>みあ</sup>はな<sup>はな</sup>  
 空<sup>そら</sup>を見<sup>み</sup>上げる花<sup>はな</sup>のよう<sup>よう</sup>に  
 笑<sup>えがお</sup>顔<sup>えん</sup>いっぱい咲<sup>さ</sup>かそうよ  
 そら<sup>そら</sup>みあ<sup>みあ</sup>はな<sup>はな</sup>  
 空<sup>そら</sup>を見<sup>み</sup>上げる花<sup>はな</sup>のよう<sup>よう</sup>に  
 笑<sup>えがお</sup>顔<sup>えん</sup>いっぱい咲<sup>さ</sup>かそうよ

あなた<sup>な</sup>が泣<sup>な</sup>いたら 雨<sup>あめ</sup>になる  
 見<sup>み</sup>ている私<sup>わたし</sup>も 雨<sup>あめ</sup>になる  
 いいんだいいんだ 泣<sup>な</sup>いたって  
 雨<sup>あめ</sup>がふるから 花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>く  
 風<sup>かぜ</sup>によりそ<sup>そ</sup>う花<sup>はな</sup>のよう<sup>よう</sup>に  
 やさしい笑<sup>えがお</sup>顔<sup>えん</sup>が咲<sup>さ</sup>くんだよ  
 風<sup>かぜ</sup>によりそ<sup>そ</sup>う花<sup>はな</sup>のよう<sup>よう</sup>に  
 やさしい笑<sup>えがお</sup>顔<sup>えん</sup>が咲<sup>さ</sup>くんだよ  
 やさしい笑<sup>えがお</sup>顔<sup>えん</sup>咲<sup>さ</sup>かそうよ

## 聖親鸞

詞:菊地祐恭 曲:永塚 裕

逆<sup>さか</sup>立つ眉<sup>まゆ</sup>の そのしたに  
 深<sup>ふか</sup>くもすめる おんまなこ  
 うつしてしかと 見<sup>み</sup>給<sup>たま</sup>いし  
 深<sup>ふか</sup>き闇<sup>やみ</sup>路<sup>じ</sup>の そこになく  
 おろかさ知<sup>し</sup>らぬ われをこそ

高<sup>たか</sup>きこうべの そのしたに  
 広<sup>ひろ</sup>く輝<sup>かが</sup>やく おんひたい  
 うつして仰<sup>あお</sup>ぎ 給<sup>たま</sup>いしは  
 親<sup>しんらん</sup>鸞<sup>らん</sup>をこそ たすけんと  
 おぼしたちける おんほとけ

人<sup>ひと</sup>世<sup>よ</sup>の苦<sup>く</sup>惱<sup>のう</sup> かみしめて  
 きびしきほほに 慈<sup>じ</sup>愛<sup>あい</sup>みち  
 まこと<sup>ま</sup>の道<sup>みち</sup>を あゆめとぞ  
 ゆるがぬ大<sup>だい</sup>地<sup>ち</sup> ふみしめて  
 聖<sup>ひじり</sup>親<sup>しんらん</sup>鸞<sup>らん</sup> たちたもう

## ひかりあふれて

詞:原 真弓 曲:綱澤 僚

阿<sup>あ</sup>弥<sup>みだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまのひかりを  
 こころにあびて  
 きょうの日もやすらぎに  
 見<sup>み</sup>たされてゆく  
 わけへだてない慈<sup>じ</sup>悲<sup>ひ</sup>は  
 雨<sup>あめ</sup>より多く  
 山<sup>やま</sup>のようにひろがり  
 すべてをつつむ

金<sup>きんじゆ</sup>樹<sup>じゆ</sup>  
 銀<sup>ぎんじゆ</sup>樹<sup>じゆ</sup>  
 瑠<sup>る</sup>璃<sup>り</sup>樹<sup>じゆ</sup>  
 美<sup>うつく</sup>しく揺<sup>ゆ</sup>れて  
 願<sup>ねが</sup>いとどくときは  
 蓮<sup>はす</sup>の花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>く

阿<sup>あ</sup>弥<sup>みだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまのいのちを  
 こころにうけて  
 いつの日もよろこびに  
 見<sup>み</sup>たされてゆく  
 はかりしれない慈<sup>じ</sup>悲<sup>ひ</sup>は  
 海<sup>うみ</sup>より深く  
 暗<sup>くら</sup>い闇<sup>やみ</sup>を照<sup>て</sup>らして  
 すべてを救<sup>すく</sup>う

琥<sup>こ</sup>珀<sup>はく</sup>  
 珊<sup>さん</sup>瑚<sup>こ</sup>  
 水<sup>すい</sup>晶<sup>しよう</sup>  
 美<sup>うつく</sup>しく満<sup>み</sup>ちて  
 願<sup>ねが</sup>いとどくときは  
 蓮<sup>はす</sup>の花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>く

## 千万の

詞:大谷嬉子 曲:清水 脩

千<sup>ち</sup>万<sup>よろず</sup>のいのちの上に築<sup>う</sup>かれし 世<sup>よ</sup>を生きる悲<sup>かな</sup>しさ  
 おもて 思<sup>おも</sup>い出<sup>で</sup>はいやあらたなりみ墓<sup>はか</sup>辺<sup>べ</sup>の昔<sup>こけ</sup>のみどりはふかみゆけども

## み光りの

詞:大谷嬉子 曲:清水 脩

み光<sup>ひか</sup>りのうち<sup>うち</sup>に君<sup>きみ</sup>あり我<sup>わ</sup>れもありといささか安<sup>やす</sup>き思<sup>おも</sup>いにし生<sup>い</sup>く

## 人は去っても

詞:中西智海 曲:天流来韶韻

南<sup>な</sup>無<sup>も</sup>阿<sup>あ</sup>弥<sup>みだ</sup>陀<sup>だ</sup>仏<sup>ぶつ</sup>  
 人<sup>ひと</sup>は去<sup>さ</sup>っても  
 その人<sup>ひと</sup>の  
 人<sup>ひと</sup>は去<sup>さ</sup>っても  
 その人<sup>ひと</sup>の  
 ほほえみは去<sup>さ</sup>らない  
 人<sup>ひと</sup>は去<sup>さ</sup>っても  
 その人<sup>ひと</sup>の  
 ことばは去<sup>さ</sup>らない

人<sup>ひと</sup>は去<sup>さ</sup>っても  
 その人<sup>ひと</sup>の  
 ぬくもりは去<sup>さ</sup>らない  
 人<sup>ひと</sup>は去<sup>さ</sup>っても  
 拝<sup>おが</sup>む掌<sup>て</sup>のなかに  
 帰<sup>かえ</sup>ってくる

# すべてのご家庭に阿弥陀様を

龍虎殿(参拝教化部)受付にてお迎えいただくことができます

〈左側〉蓮如上人(運師)



〈中央〉御本尊(阿弥陀如来)



〈右側〉親鸞聖人(宗祖・祖師)



※上記写真の他に六字尊号(南無阿弥陀仏)、九字尊号(南無不可思議光如来)、十字尊号(帰命尽十方無礙光如来)がございます。  
※大きさや表装の違いにより異加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部(免物係)までお問い合わせください。

## いちよう・きく

いろいろな生活環境においても、心のよりどころとしてのご本尊を安置していただける小型の「いちよう」と「きく」があります。それぞれにご絵像と六字名号があります。



いちよう  
(縦24cm×横19cm×奥行9cm)  
異加金 30,000円



きく  
(縦17.2cm×横10.3cm×奥行2.9cm)  
異加金 20,000円

## 携行本尊(絵像)

携行本尊とは、「独りじゃないよ、いつも一緒だよ」と、よびかけてくださる阿弥陀さまをいつでもどんな時でも感じられるよう、持ち歩くことができる名刺サイズの御本尊です。西本願寺(龍虎殿)で直接お迎えいただけるほか、ホームページからのお申込みも可能です。



PR動画及び  
申込みフォーム  
はこちら



(縦90mm×横55mm×厚み2mm  
漆ブラック調バイオプラスチック)  
異加金 10,000円

参拝教化部(免物係)



# 「お齋」接待のご案内

## 御正忌報恩講法要

とき ● 1月10日(金)～15日(水)  
ところ ● 書院(鴻之間) 全席椅子席

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『齋』といいます。本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、御正忌報恩講法要の日中法要後にお齋の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。本願寺でのお齋は、動物性の食材は一切用いず、汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山 有田北組の皆様がご進納)とお酒を土産にお持ち帰りいただいております。

・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

12月2日(月)  
申込受付開始

参拝教化部(龍虎殿1階)